

2021年度（第36回）レーザー安全スクールを実施

当協会は、第36回レーザー安全スクールを2022年3月1日～25日にオンラインで開催した。

2021年度は新型コロナウイルス感染再拡大の影響により時期を3月に移して、2020年度と同様にeラーニング形式によるオンラインセミナーとして開催した。

本スクールはレーザー機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザー機器導入・安全取扱い講習会」としてスタートし、時代の変遷に伴い「レーザースクール」、「レーザー安全スクール」と改称し、2021年度「レーザー安全スクール」として36回目となった。この間、内容も日本工業規格であるJISC 6802「レーザー製品の安全基準」および関連する個別規格の改正に対応した見直しを行うことで、最新の日本工業規格および厚生労働省・基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅し、光加工、光通信、レーザー医療等の各分野に従事するレーザー機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するために最新の規格に対応する内容とし、社会の要請に応えるものとしている。

受講者数を各コース別に下表に示す。2021年度は2度目とあってオンラインでの開催が周知されてきたこともあり、2020年度よりも大幅に受講申込数が増加し、2019年度（対面形式で2期に分けて開催）の90%にまで回復した。

2022年度は年内開催の予定とするものの、開催方法は新型コロナウイルス感染の状況、オンライン形式での開催の反響や反省等も踏まえて決めていくことになる。

レーザー安全スクール コース別受講者数：単位（名）

コース名	2021年度	2020年度	2019年度*
Iコース：光・レーザー概論	45	35	45
S1コース：レーザー工学の基礎	120	83	122
S2コース：レーザー安全の基礎	218	157	236
S3コース：レーザー応用機器の安全	78	41	91
S4コース：大出力レーザー機器の安全	81	74	105
M1コース：レーザー安全管理者	84	70	96
M2コース：レーザー安全技術者	48	30	51
合計（各コース受講者数の累計）	674	490	746

*前々回は対面形式・2期に分けて開催